

私の戦中戦後雑記

杉並区 田村一郎（本町一丁目出身）



私は田村商店の長男として昭和二年二月本町一丁目生まれ育ちました。

高田商工学校へ入りましたので、平和な時代でしたら家業を継いでいたと思いますが、戦時中は酒店の経営もだんだん難しくなり、一時休業せざるを得なくなつて来ました。

近所の一年先輩の倉田芳二君（戦後JALのパイロットとして活躍）の感化を受け通信省新潟航空機乗員養成所に入學しました。同期生に本町の青木ミシン店の青木一男君がいました。

父母も民間のパイロットなら軍隊よりも多少でも安心だと理解して呉れたようです。

最初はパイロットを目指して飛行機に乗りましたが、間もなく脚気を患い機関科（整備）へ廻されました。

新潟の養成所を卒業、松戸高等航空機乗員養成所（現航空大学の前身）に入りましたが一年少々で終戦になってしまいました。それでも繰り上げ卒業という事で、航空機関士と一等航空整備士の免状

を貰いました。

同期生の多くはその後民間の航空会社、自衛隊、運輸省航空局等、航空界で活躍しましたが私にはそのチャンスが有りませんでした。終戦後高田へ帰りましたが隣家（薬局）の植木賢三さんに誘われ富士自動車追浜工場（現在の日産追浜工場）、鶴見工場、新橋本社に勤めるようになりました。この事がその後の私の人生を決定づけてしまいました。

その後独立して自動車、機械の部品販売を始め何とか四十年以上続けています。

Jネットワーク交流会には内藤實さんの勧めで昨年から二回続けて、又今年は総会に何れも夫婦で参加させて頂いております。

何時もの事ながら故郷の空行く風しつとりとした空気に触れると乾いた心が和んでくるのを覚え満たされた気持ちになつて帰ってくるのが常であります。

最後に市役所の係りの方々の献身的なご努力とお心遣いに厚くお礼申し上げます。